

## 令和6年度 出資団体監査の結果（指摘・意見）に基づく措置状況等の報告

- 1 監査の種類 出資団体監査  
 2 監査対象 公益財団法人四日市市文化まちづくり財団  
 シティプロモーション部 文化課（出資に関する事務の所管所属）  
 3 監査実施期間 令和7年1月8日

【公益財団法人四日市市文化まちづくり財団】

### 指 摘

#### 1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

特になし

#### 2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指 摘	措置（具体的内容）・対応状況
事業報告書の記載誤りについて【合規性の視点】 令和5年度事業報告書において、一部数値の記載誤りが見受けられた。事業報告書は決算の根拠資料でもあり、正確な資料作成を徹底するとともに、内容を適切に確認できるよう体制強化に努めること。	【措置済】 令和7年3月27日 令和7年3月に開催された理事会及び評議員会で記載誤りを報告した。内容が未収金の事業報告書での扱いであったため、あらためて正確な取り扱いについて職員への指導を行った。

### 意 見

#### 1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

意 見	措置（具体的内容）・対応状況
(2) 会計経理及び財産管理等が適正に行われないリスク ① 財団における事務執行については、現在の法人形態となる前の4つの法人（財団法人四日市市文化振興財団、財団法人四日市国際交流協会、財団法人四日市市都市整備公社及び財団法人霞ヶ浦振興公社）から引き継がれた執行手法が依然として残っている事務が存在しているとのことである。体系的な統一も含め、財団の事務執行手法を整理するとともに、備品管理も含め、適切に事務執行が行われるよう取り組むこと。	【継続努力】 令和7年8月31日 4法人の統合以降、共通する事務については、会計ソフト等、統一化に取り組んでいるが、残る共通事項についても引き続き整理していく。 【措置済】 令和8年2月28日 会計ソフトについては統一化を完了し、現在は人事労務管理のシステム化を進めるなど財団全体の事務執行手法を整理し、適切な事務執行への意識をもって取り組んでいく。
② 決裁時においては、自らの役職の責任を改めて認識し、内容の精査を確実にを行うなど、適正な事務執行に努めること。	【措置済】 令和7年3月13日 グループリーダー以上が集まる財団内の定例会の場において、役職のある職員に対し、決裁時の確認についてあらためて指示した。

<p>(4) 事業継続性のリスク</p> <p>文化振興事業をはじめとして、市民のニーズや嗜好が多様化している現代において、若い世代の考えを取り入れていくことが事業の継続にとって重要であり、引き続き若手職員の登用及び職員の育成に努めること。併せて、他業種からも転職や退職後の人材の積極的な確保に努め、事業の継続実施が可能な体制づくりに取り組むこと。</p>	<p>【措置済】 令和 7年 4月 1日</p> <p>令和5年度から、新規採用を進めており、令和7年度までに計6名の新規職員を採用した。そのうち新卒者は1名で他5名は転職者である。また、退職後の職員も引き続き財団で再雇用しており、今後も財団の継続的な運営のため人材確保に取り組んでいく。</p>
<p>公益財団法人であるために、公益目的事業にかかる費用が収益を上回っている状況にあるが、事業の継続性という観点からは、収益事業による収益も重要である。収益の増加と費用の減少に留意しつつ、安定的に公益目的事業が展開できるような事業運営に努めること。</p>	<p>【措置済】 令和 7年 8月 31日</p> <p>公益・収益事業について、事業ごとに予算、決算、執行を管理しており、まずは、それぞれの事業ごとの収支を考慮し、次に全体のバランスを見ながら事業展開している。令和7年度からレジャー施設の利用料金を見直したが、今後も安定的に財団運営できるよう努めていく。</p>

## 2 3 E (経済性、効率性、有効性)等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見	措置(具体的内容)・対応状況
<p>① 四日市市文化会館事業について【経済性の視点・有効性の視点】</p> <p>様々な広報活動を通じて文化振興事業の周知に努めるとともに、新たな利用者の掘り起こしにも注力し、文化会館友の会(楽人くらぶ)会員数の増加につながるよう、具体的な目標を立てて取り組みを進めること。</p>	<p>【措置済】 令和 7年 3月 31日</p> <p>より見やすいホームページを目指し、令和7年3月にホームページのリニューアルを行うことでアクセス数を増加させることができた。また、訴求力のある投稿を継続して行う等のSNS運用の強化に努め、フォロワー数を増加させた。こうした広報活動やより魅力のある事業を展開することで、令和6年度の友の会会員数が400人目標であったところ、令和7年3月末で722人の会員数とすることができた。なお、令和7年10月から休館となるため、令和7年度の目標は設定していないが、令和8年度からは再び目標設定をして取り組みを進めていく。</p>
<p>② 霞ヶ浦会館の活用について【有効性の視点】</p> <p>ア 市の大きな財源である競輪事業に密接に関係している霞ヶ浦会館については、施設環境が競輪選手の体調等に大きく影響することを十分認識し、施設の環境整備を確実に実施するとともに、市に対しても必要な補助等についての働きかけを行うこと。</p>	<p>【措置済】 令和 7年 3月 25日</p> <p>霞ヶ浦会館が市の競輪事業に欠くことのできない施設であることは認識しており、施設環境の維持にはしっかり注意を払っている。今後の整備について、3年間の計画を策定するとともに、費用について市に補助を働きかけ、2分の1の補助を受けられることになった。</p>
<p>イ 会館に付属する喫茶店については、植栽を撤去するなど店舗の視認性の向上について検討し、一般客の利用の増加につながるよう努めること。</p>	<p>【措置済】 令和 7年 4月 10日</p> <p>会館については、競輪選手の宿舎となるため、植栽の奥を塀で区切り閉鎖できるようになっており、選手宿泊のない日程のみ喫茶店の営業を行っている。喫茶店の視認性が向上するよう看板を更新するとともに、営業日には掲出するのぼりの数を増やした。今後も工夫し、一般客が増加するよう努めていく。</p>

【シティプロモーション部文化課】

## 指 摘

特になし

## 意 見

### 1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

意 見	措置（具体的内容）・対応状況
(1) 出資団体の指導監督が適切に行われないリスク シティプロモーション部長が理事として財団の事業を把握しているとはいえ、財団の所管する事業は幅広く、関係する市の所属も多くあることから、より一層の情報共有を推進する仕組みづくりに努めること。	【 措置済 】 令和 7年 1月31日 今後も必要な事項があった場合は、各部間でも深く広く、しっかり情報共有するように部内で再度確認を行った。

### 2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

特になし

【公益財団法人四日市市文化まちづくり財団・シティプロモーション部文化課】

## 指 摘

特になし

## 意 見

### 1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

特になし

### 2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意 見	措置（具体的内容）・対応状況
四日市市文化会館の駐車場について【経済性の視点・有効性の視点】 文化会館の駐車場は、現在無料となっているが、同格都市の類似施設の駐車場で有料となっている事例も参考に、将来的な駐車場の有料化についての研究を行うこと。	【 措置済 】 令和 7年 8月31日 同格都市の類似施設の駐車場の調査を行い、文化フォーラム春日井や三重県総合文化センター等の駐車場が無料であったことから、直ちに文化会館の駐車場を有料化にすることは難しいと考える。